協会報

日本林業

● 第9巻 第1号 ● 平成29年4月28日 発行

発行:一般社団法人 日本林業協会

東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル TEL. 03-3586-8430 FAX. 03-3586-8434 編集・発行人 前田直登

第4回 林業復活・地域創生を推進する 国民会議 国産材の利活用拡大に向け提案

一協会からの情報提供を一段と充実一

- 一般向け情報誌と して『森林と林業』
- 会員向け情報誌と して『協会報 日本 林業』を発行



目次:

第4回林業復 活・地域創生 国民会議	1 - 2
働き方改革 実行計画	2
働き方実行計 画課題と対応 策 行事日程	4



(一社) 日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)が主催し、美しい森林づくり全国推進会議と(公社) 国土緑化推進機構が共催する第4回「林業復活・地域創生を推進する国民会議」が4月19日に、都市センターホテルで開催され、山本有二農林水産大臣と小泉進次郎自民党農林部会長が来賓として出席した。

全国推進会議の冒頭、三村明夫会長(日本商工会議所会頭)は「政府は昨年、森林・林業基本計画を5年ぶりに改訂し、森林法もこれに合わせて一部を改正、木材の自給率も33.2%に上がるなど、林業は改善の兆しを見せているが、林業を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いている。このような情勢の中、国民会議は国産材利活用の拡大に向けた具体的な提案を行い、これからも国民の啓発活動に尽力していきたい。今回の会議では高知県の尾崎正直知事をはじめとして各地域で林業復活に向けた積極的な展開を図られている方々からの報告をして戴きます。これらを参考として全国各地でそれぞれに実践的な活動を展開していただけたらと考えます」として林業再生に向けた取組の輪が広がっていくことを期待することを表明した。

小泉進次郎自民党農林部会長 東京五輪のビクトリー・ブーケを引き合いに出し、 「木材業界も気概を見せて欲しい」と一層の奮起を要請



昨年の国民会議に引き続いて本年も来賓として出席した小泉進次郎自民党農林部会長は、「昨年、私は、木のコップを持参し、林業・木材産業の集まりである時ぐらいは会場にも『木製グラス』を使うような気構えが必要なのではないか?と話しました。今回、会場にコップが並ぶようなことはありませんでしたが、皆様のお手元に木の器が配られており、国民会議皆様の意欲を実感したところです。有難うございます。最近私はある人に勧められ木のファイルホルダーを使うようになりました。是非、来年の国民会議では木のファイルホルダーが使われていますように期待しているところです」と挨拶し、会場からの笑いを誘った。

ただし、この小泉部会長の特有のジョークは木材業界に対する苦

言の前振りでもあった。小泉氏は「オリンピックの時に勝者に花束を贈る。これをヴィクトリー・ブーケといいますが、前回のリオでは生花を保つのが難しいということで取りやめになりました。2020の東京五輪・パラリンピックでは是非復活させたいとの希望が生花業界から上がっており、その費用はすべて業界が負担します。我々の希望はただ一つ、ヴィクトリー・ブーケを復活することだけです。という言葉を聞いて、これは何とか力にならなければ一と思った次第です。国立競技場に木製のイスを設置してはということが議論に上っていますが、課題の一つはコストだそうです。材料費に加えて、管理・メンテナンスの費用も考えなければなりません。こんな時、木材業界の皆様が、足りない分は持ちます。メンテナンスも自分たちが負担します一というような気概を示せば、世の中の動きも変わってくるのではないかなと考えています。」と来賓としての挨拶を締めくくった。

安倍総理「一億総活躍社会」の実現に向け働き方改革実行計画を決定

安倍総理が「一億総活躍社会」実現に向けてのチャレンジと位置付ける「働き方改革」の実行計画が 3月28日に決定しました。安倍総理は決定の発表に当たり、「働き方改革実行計画の決定は、日本の 働き方を変える改革にとって、歴史的な一歩である。」と語っています。

安倍総理肝いりで開始された働き方改革実現会議は、昨年9月27日に第1回会議を開催後、昨年中はほぼ1カ月に1回の割合で開催し、本年に入ってからは開催頻度を上げ、3月28日の第10回会議で働き方改革実行計画を決定することとなった。この間の主要検討課題は、非正規雇用の処遇改善を中心テーマとした『同一労働同一賃金』の実現に向けた検討とガイドラインの作成について、長時間労働の是正や柔軟な働き方がし易い環境整備などに対応するためのテレワークの検討やガイドラインの必要性に加え、障害者等の能力を活かした就業支援なども検討、また、外国人の受け入れや労働力の流動性確保の課題、高齢者の就業促進などが議論され、その結果が実行計画に盛り込まれる結果となった。詳細は首相官邸のホームページ(http://www.kantei.go.jp/jp/singi/hatarakikata/)から閲覧可能。

実施計画の工程表では、検討された対応策を10年後である2027年度までに実施する具体的なタイムテーブルが示されている。次ページに実行計画が示す課題と対応策のチャート図を掲載した。

`

働き方改革実行計画での課題と対応策

対応策

検討のテーマ

1. 正規雇用の処遇改善

2. 賃金引き上げと労働生産性

3. 長時間労働の是正

4. 柔軟な働き方がしやすい環境整備

5. 病気の治、子育て・介護等の仕事の両立、障碍者就労の推進

6. 外国人材の受け入れ

7. 女性・若者が活躍しやすい環境整備

8. 雇用吸収力の高い産業への転職・再就職支援、人材育成、格差を固定化させない教育の充実

9. 高齢者の就業促進

①同一労働同一賃金の実効性を確保する法制度とガイドラインの整備

②非正規雇用労働者の正社員化などキャリアアップの推進

③企業への賃上げの働きかけや取引条件改善・生産性向上支援など賃上げしやすい環境の整備

④法改正による時間外労働の上限規制の導入

⑤勤務間インターバル制度の導入に向けた環境整備

®健康で働きやすい職場環境の整備

の雇用型テレワークのガイドライン刷新と導入支援

⑧非雇用型テレワークのガイドライン刷新と働き手への支援

③副業・兼業の推進に向けたガイドライン策定やモデル就業規則改定などの環境整備

⑩治療と仕事の両立に向けたトライアングル型支援などの推進

⊕子育で・介護と仕事の両立支援策の充実・活用促進

◎障害者等の能力を活かした就労支援の推進

③外国人材受入れの環境整備

●女性のリカレント教育など個人の学び直しへの支援や職業訓練などの充実

⑤パートタイム女性が就業調整を意識しない環境整備や正社員女性の復職など多様な女性活躍の推進

⑥就職氷河期世代や若者の活躍に向けた支援・環境整備の推進

◎中途採用の拡大に向けた指針策定・受入れ企業 支援と職業能力・職場情報の見える化

⑩給付型奨学金の創設など誰にでもチャンスのある教育環境の整備

⑩継続雇用延長・定年延長の支援と高齢者のマッチング支援

平成29年3月 国会の動き

- ——第193回国会(1/20~6/18)審議事項—
- 1日(水)参議院予算委予算案質疑(9日まで)
- 7日(金)衆議院本会議各法案審議(継続)
- 10日(金)参議院本会議予算案質疑(継続)
- ----各党の動き----
- 10日(金) 自民党・農林/食料戦略調査会/農林部 会合同会議(森林・林業白書について)
- 16日(木)自民党・子どもの元気!農山漁村で育むプロジェクト委員会(予算関連)
- 22日 (水) 超党派・世界遺産議員連盟総会
- 23日 (木) 自民党・農林水産関係雪害対策WG
- 24日(金) 自民党・農林役員会(雪害対策WGの農 仕入れに関する討議)
- 24日(金) 自民党・農林/食料戦略調査会/農林部 会合同会議 (TPPチリ会合の結果報告)
- 24日(金) 自民党・林政小委員会(木材需要と木 材利用の拡大について)
- 29日(水)自民党·農林役員会(森林林業白書)
- 30日(木) 自民党・EU経済連携対策議員連盟(交 渉の進捗状況について)
- 31日(金)自民党・林政小委員会(木材需要の創出と地域資源を活用した山村振興)

平成29年4月 業界の動き

- 3日(月)入省式、入庁式、辞令交付
- 5日(水)第一回ジビエ利用拡大に関する関係省 庁連絡会議
- 11日(火)林政審(本審)
- 13日(木)木材利用システム研究会
- 13日(木)兵庫県立森林大学校開校式
- 14日(金)「緑の募金」総理への緑の羽根着用キャンペーン(官邸)
- 15日(土)緑の月間スタート(5/14まで)
- 18日(火)「森林と林業」5月号編集会議
- 19日(水) 林業復活・地域創生を推進する国民会議(都市センターホテル)
- 20日(木) 林政記者クラブ山形視察旅行(21日まで)
- 21日(金) 平成28年度輸出に取り組む優良事業者表彰式典(食料産業局)
- 27日(木)第2回ジビエ利用拡大に関する関係省庁 連絡会議
- 28日(金)第10回「みどりの式典」(憲政記念館)
- 29日(土) 2017新宿御苑みどりフェスタ